



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月12日

上場会社名 アルコニックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3036 URL http://www.alconix.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹井 正人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画 (氏名) 手代木 洋 TEL 03-3596-7400  
 本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	175,574	△10.3	4,048	△18.1	4,335	△14.0	3,253	△9.9
2019年3月期第3四半期	195,781	6.6	4,946	△9.8	5,039	△14.8	3,612	△15.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,266百万円 ( 42.9%) 2019年3月期第3四半期 2,285百万円 ( △50.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	128.81	—
2019年3月期第3四半期	139.61	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	140,772	41,594	28.3
2019年3月期	143,851	39,673	26.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 39,776百万円 2019年3月期 37,901百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	19.00	—	20.00	39.00
2020年3月期	—	21.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	232,000	△9.9	5,300	△15.3	6,000	△4.1	4,400	9.7	174.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）FUJI ALCONIX Mexico S.A.de C.V.、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、[添付資料] 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期3Q	25,915,700株	2019年3月期	25,882,200株
2020年3月期3Q	661,769株	2019年3月期	437,635株
2020年3月期3Q	25,256,909株	2019年3月期3Q	25,874,870株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 4 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界の経済環境は、長期化する米中間の貿易摩擦や中国経済の減速、英国のEU離脱交渉の難航等により、一段と景況に不透明感が強まってきております。

我が国の経済は雇用所得の改善が底堅く推移する一方、期後半での消費税率引上げに対する消費マインドへの影響、企業収益並びに輸出の伸び悩み等、景気は総じて緩やかな回復基調にとどまりました。

当社グループを取巻く関連業界は、自動車関連においてはEV、電装化、軽量化といったトレンドの多角化が進行しておりますが、米中間の貿易摩擦の長期化による海外経済の減速を受け需要は全般的に減少いたしました。また、半導体・電子部品関連では、IoT、AI等におけるデータ量の増加や自動車の電装化進行による業界を横断した市場の拡大傾向は続くものの、スマートフォン並びに半導体製造装置向け需要は低調でありました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、金属加工分野における製造子会社の業績が連結業績に貢献したものの、商社流通における電子材料、自動車関連部材を中心とした取扱い並びに装置材料事業における出荷が伸び悩み、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。利益面においては持分法による持分法投資利益や当社グループ会社におけるメキシコ事業再構築の一環として現地合弁事業を解消したことに伴う関係会社株式売却益を特別利益に計上した一方で、上記減収要因の他、レアメタルの一部の在庫においてたな卸資産評価損を計上したこと等により、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結経営成績は、売上高175,574百万円（前年同期比10.3%減少）、営業利益4,048百万円（同18.1%減少）、経常利益4,335百万円（同14.0%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,253百万円（同9.9%減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は次のとおりであります。また、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

#### ・商社流通－電子機能材事業

スマートフォン・タブレット端末向け部材は、需要の停滞が継続し、取扱いは前年同期に比べ微増にとどまりました。また、二次電池関連部材並びに環境関連部材の需要は底堅く推移し、チタン・ニッケル製品も欧州向け輸出取引を中心に前年同期に比べ増加しました。一方、レアメタル・レアアースについては、価格相場下落、需要の停滞により取扱いは低迷いたしました。

なお、一部のレアメタルの在庫に対してたな卸資産評価損の計上を余儀なくされたことにより、セグメント利益は大きく減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は54,957百万円（前年同期比17.6%減少）、セグメント利益は136百万円（同78.5%減少）となりました。

#### ・商社流通－アルミ銅事業

製品分野においては、AI・IoTの普及や自動車の電装化・軽量化に伴い非鉄関連需要の増加トレンドに変化はないものの、長引く米中貿易摩擦による中国の景気後退により半導体関連及び自動車関連部材の荷動きは引続き低調に推移いたしました。また空調機器関連部材の取り扱いも天候不順の影響により前年同期に比べ減少いたしました。

原料分野においては、当第3四半期連結累計期間におけるアルミ・銅等の非鉄相場の低迷と景況感の悪化により、主力のアルミ再生塊、黄銅棒の取扱いが減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は90,537百万円（同11.4%減少）、セグメント利益は607百万円（同31.2%減少）となりました。

#### ・製造－装置材料事業

めっき材料においては中国経済の減速による需要減少と市況下落の影響により、北米、中国の両拠点は共に出荷が前年同期に比べ減少いたしました。またブレーキ摩擦材向けカシュー樹脂製品は需要がやや弱含むものの収益は計画通りに推移いたしました。当第3四半期連結累計期間より連結収益に取込んだ株式会社富士カーボン製造所の小型モーター向けカーボンブラシについては国内外の自動車関連の需要減少により、国内並びに海外法人は共に収益が当初の計画を下回りました。非破壊検査装置及びマーキング装置分野においては、国内の装置需要は堅調でしたが、海外法人において主要顧客向け探傷剤等消耗品の出荷が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当セグメントにおける売上高は18,859百万円（同19.4%増加）、セグメント利益は233百万円（同54.7%減少）となりました。

#### ・製造－金属加工事業

半導体実装装置向け研削加工部品は実装装置需要が堅調に推移し、出荷は前年同期を上回りました。一方、精密切削加工部品は半導体製造装置需要の減少により前年同期に比べ減少いたしました。自動車向け金属精密プレス部品は、新規受注並びに試作品を中心とした出荷が前年同期に比べ増加いたしました。なお利益面では、持分法適用関連会社の持分法による持分法投資利益を計上し、セグメント利益は前年同期に比べ増益となりました。

この結果、当セグメントにおける売上高は16,733百万円(同4.9%増加)、セグメント利益は3,342百万円(同9.9%増加)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

a. 流動資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は100,618百万円であり、前連結会計年度末比3,611百万円の減少となりました。主な内訳は、受取手形及び売掛金の減少2,475百万円、たな卸資産の減少2,322百万円、並びに現金及び預金の増加2,449百万円であります。

b. 固定資産

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は40,153百万円であり、前連結会計年度末比532百万円の増加となりました。主な内訳は、有形固定資産の増加1,596百万円、のれんを含む無形固定資産の償却による減少858百万円、及び投資その他の資産の減少206百万円であります。

c. 流動負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は70,186百万円であり、前連結会計年度末比4,736百万円の減少となりました。主な内訳は支払手形及び買掛金の減少4,027百万円、短期借入金の増加534百万円、及び1年内返済予定の長期借入金の減少919百万円であります。

d. 固定負債

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は28,992百万円であり、前連結会計年度末比262百万円の減少となりました。主な内訳は社債の減少149百万円、及び長期借入金の減少92百万円であります。

e. 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は41,594百万円であり、前連結会計年度末比1,920百万円の増加となりました。主な内訳は利益剰余金の増加2,168百万円、その他有価証券評価差額金の増加860百万円、及び為替換算調整勘定の減少933百万円であります。

② 経営成績

a. 売上高

売上高は製造セグメントで増収を確保したものの、商社流通セグメントでの減収が響き、グループ全体では減収となりました。取扱品並びに製品別で見ると、商社流通では、銅スクラップ、電池用鉛地金、車載並びにスマートフォン・タブレット端末向け電池・電子材料、チタン展伸材の輸出取引が前年同期に比べて増加いたしました。アルミ圧延品、伸銅品、アルミ再生塊等の非鉄原料の取扱いは減少いたしました。

製造では半導体実装装置向け精密研削加工部品、及び金属精密プレス部品が前年同期に比べ増加した他、当第3四半期連結累計期間より連結収益に取込んだ株式会社富士カーボン製造所の小型モーター向けカーボンブラシ、並びに2019年1月より連結収益に取込んだ東北化工株式会社のブレーキ摩擦材向けカシュー樹脂製品及び電波吸収体が連結業績に寄与いたしました。一方、めっき材料、半導体製造装置向け精密切削加工部品、非破壊検査装置並びにマーキング装置の出荷は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期比10.3%減少の175,574百万円となりました。

b. 売上総利益

商社流通セグメントにおける減収に伴う減益の他、レアメタルの一部在庫においてたな卸資産評価損を計上したことにより、当第3四半期連結累計期間における売上総利益は前年同期比5.4%減少の13,956百万円となりました。

c. 販売費及び一般管理費

製造子会社2社を連結子会社化したことにより、当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は前年同期比1.1%増加の9,907百万円となりました。

d. 営業利益

上記の結果、当第3四半期連結累計期間における営業利益は前年同期比18.1%減少の4,048百万円となりました。

e. 営業外収益、営業外費用

受取配当金の増加、持分法による持分法投資利益の増加及び為替差損の減少等により、営業外収支(営業外収益－営業外費用)は286百万円の収入超となりました(前年同期は92百万円の収入超)。

f. 経常利益

上記の結果、当第3四半期連結累計期間における経常利益は前年同期比14.0%減少の4,335百万円となりました。

g. 特別利益、特別損失

当社グループ会社におけるメキシコ事業再構築の一環として現地合弁事業を解消したことに伴う関係会社株式売却益を含む特別利益476百万円を計上する一方、固定資産除却損等の特別損失35百万円を計上いたしました。

h. 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益4,776百万円から、法人税等1,509百万円、連結子会社10社における非支配株主に帰属する四半期純利益13百万円を差引き、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比9.9%減少の3,253百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、2019年10月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	23,600	26,050
受取手形及び売掛金	47,055	44,579
商品及び製品	25,212	22,007
仕掛品	2,866	3,332
原材料及び貯蔵品	1,595	2,012
その他	4,599	3,327
貸倒引当金	△700	△691
流動資産合計	104,230	100,618
固定資産		
有形固定資産	18,804	20,401
無形固定資産		
のれん	3,714	3,262
その他	4,036	3,630
無形固定資産合計	7,750	6,892
投資その他の資産	13,066	12,860
固定資産合計	39,621	40,153
資産合計	143,851	140,772
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,727	30,699
短期借入金	28,921	29,455
1年内返済予定の長期借入金	5,240	4,321
1年内償還予定の社債	149	149
未払法人税等	931	756
賞与引当金	1,058	683
その他	3,894	4,119
流動負債合計	74,922	70,186
固定負債		
社債	525	375
長期借入金	23,571	23,478
役員退職慰労引当金	932	768
退職給付に係る負債	851	796
長期未払金	30	338
その他	3,343	3,235
固定負債合計	29,255	28,992
負債合計	104,177	99,178

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,968	2,989
資本剰余金	1,990	2,011
利益剰余金	30,725	32,893
自己株式	△516	△800
株主資本合計	35,166	37,094
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	513	1,374
繰延ヘッジ損益	△23	△3
為替換算調整勘定	2,244	1,311
その他の包括利益累計額合計	2,734	2,682
新株予約権	10	27
非支配株主持分	1,761	1,789
純資産合計	39,673	41,594
負債純資産合計	143,851	140,772



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	195,781	175,574
売上原価	181,030	161,617
売上総利益	14,750	13,956
販売費及び一般管理費	9,804	9,907
営業利益	4,946	4,048
営業外収益		
受取利息	107	86
仕入割引	13	14
受取配当金	288	373
不動産賃貸収入	60	60
持分法による投資利益	152	235
屑売却益	193	154
その他	138	180
営業外収益合計	953	1,104
営業外費用		
支払利息	497	531
売上割引	7	4
為替差損	226	172
手形売却損	21	18
不動産賃貸原価	12	12
その他	95	77
営業外費用合計	861	817
経常利益	5,039	4,335
特別利益		
固定資産売却益	12	6
新株予約権戻入益	1	0
投資有価証券売却益	36	0
関係会社株式売却益	—	422
関係会社清算益	—	36
助成金収入	3	3
補助金収入	154	9
その他	1	0
特別利益合計	209	476
特別損失		
固定資産売却損	0	3
固定資産除却損	2	14
投資有価証券売却損	5	—
関係会社株式評価損	—	17
特別損失合計	8	35
税金等調整前四半期純利益	5,240	4,776
法人税等	1,551	1,509
四半期純利益	3,689	3,267
非支配株主に帰属する四半期純利益	76	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,612	3,253

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	3,689	3,267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,146	910
繰延ヘッジ損益	13	21
為替換算調整勘定	△212	△872
持分法適用会社に対する持分相当額	△58	△61
その他の包括利益合計	△1,403	△0
四半期包括利益	2,285	3,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,302	3,200
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	66

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算) 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
外部顧客に対する売上高	63,660	100,669	15,699	15,751	195,781
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,031	1,484	103	205	4,824
計	66,692	102,154	15,802	15,956	200,605
セグメント利益	634	883	515	3,040	5,074

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、アルコニックス・東北化工株式会社を新たに設立、同社により東北化工株式会社の株式を取得、またその子会社であるTohoku Chemical Industries(Vietnam),Ltd.を新たに連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「装置材料事業」において3,168百万円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,074
セグメント間取引消去	△35
四半期連結損益計算書の経常利益	5,039

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、アルコニックス・東北化工株式会社を新たに設立、同社により東北化工株式会社の株式を取得、またその子会社であるTohoku Chemical Industries(Vietnam),Ltd.を新たに連結の範囲に含めたことにより、「装置材料事業」においてのれんの金額が542百万円増加しております。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	商社流通		製造		
	電子機能材	アルミ銅	装置材料	金属加工	
売上高					
外部顧客に対する売上高	52,730	87,480	18,774	16,589	175,574
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,226	3,057	85	144	5,514
計	54,957	90,537	18,859	16,733	181,088
セグメント利益	136	607	233	3,342	4,320

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、FUJI ALCONIX Mexico S.A. de C.V.を新たに連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第3四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「金属加工事業」において2,464百万円増加しております。

## 3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,320
セグメント間取引消去	15
四半期連結損益計算書の経常利益	4,335